



白河二中だより

NO. 15

2023. 7. 14

白河市立白河第二中学校
発行責任者 小野 聡

思いを伝える

10日(月)、白河市青少年健全育成推進大会において、「少年の主張」が開催され、本校代表の笹山峻君が表現力豊かに思いを伝え、白河市青少年育成市民会議会長賞を受賞しました。以下、全文です。



「今のどういう意味?」「もう一回言ってみて」

皆さんは人に説明するのが得意だろうか?僕は、苦手だ。授業中、友だちの前で説明すれば全く通じず、自分でも途中から何を言っているのか分からなくなるほど苦手だ。そんなことを繰り返す自分が嫌になり、ため息をつくことが何度もあった。そんな人との関わりを僕は、「怖い」「なるべくなら避けたい」と思い続けていた。

そんな僕が今、学校で生徒会長をしている。まさか僕が「生徒会長」だなんて……。就任が決まったとき、そうずっと思っていた。大きな不安が胸に残り続けていた。会長になって最初の仕事、生徒会総会。僕にとっては大仕事だった。成功するのか心配で仕方なかった。だから僕は、生徒会で綿密な事前会議をしようとした。この会議の中では、勿論人との関わりがある。意見を出し合い、方向性を定め、決断を下す。意見をまとめることも進行することも苦手な僕の足は、会議中ずっと震えていた。僕が戸惑い、なかなか進まなかった会議。しかし、生徒会の仲間が支えてくれた。副会長は、アドバイスをくれ、書記は、スムーズにメモを取ってくれた。そして会計は、多くの意見を出してくれた。それが僕にとってなんと心強かったことか。仲間のお陰で、生徒会総会をスムーズに進めることができた。あんなに人と関わるのが苦手であった僕が、生徒会の仕事をする中で、「人との関わり」の大切さを知った。

僕は、生徒会だけでなくクラスや所属する野球部の中でも積極的に「人との関わり」をもつようになった。友だちとの間で質問し合ったり、説明し合ったりした。それでも「答え」がみつからない時があった。しかし、悩むこと、考えることでより相手のことを理解できるようになった。

僕が思う「人との関わり」の大切さ。それは、友だちの良いところを見ることができること。また、異なる意見をもった友だちとの話し合いができること。説明したり、違う意見を聞いたりする中でそれまでになかった新しい視点を自分自身に取り入れることができることだ。

現在、社会では、コミュニケーションツールが発達し、どんな時間でも、どんな場所からでも、会話や連絡をすることができる。とても便利な技術だが、人と面と向かって関わることで得られるものが多いと思う。直に感じられる言葉の重み、相手の表情の温かさ。感じられる、触れることができるものは数え切れない。そしてこのような「人との関わり」は社会に溢れている。

皆さんには、ぜひもっと多くの人と関わってほしい、向き合ってほしい、あきらめないでほしい。時には嫌な思いをすることや失敗をすることもあるかもしれない。しかし、それはきっと皆さんの人生を豊かにしてくれるはずだ。もし、「説明するのは苦手ですか?」と聞かれたら、今でも僕は「はい。」と答えるだろう。でも続けてこう答える、「苦手ですが好きです!だから僕はこれからもできるだけ多くの人と関わっていきたい。」

7日(金)、1回目の学校運営協議会を開催し、アンケート項目に関する意見などをいただきました。今年度、学校運営協議会にご協力いただきます皆さんを紹介いたします。

- | | | | | | | | |
|------|--------|---|-----------------------------|-------|---|-----------|--|
| ○会長 | 高橋 顕 | 様 | (学識経験者):本校元校長 | | | | |
| ○副会長 | 熊本 光義 | 様 | (校区の地域住民):元白河市、西白河PTA連絡協議会長 | | | | |
| | 鈴木 雄策 | 様 | (校区の地域住民):前PTA会長 | | | | |
| ○委員 | 牧田 純一 | 様 | PTA会長 | 高橋 健司 | 様 | 緑ヶ丘町内会長 | |
| | 藤井 勝美 | 様 | 第一区町内会長 | 井上 健一 | 様 | 白河市中心公民館長 | |
| | 鈴木 栄一 | 様 | 白河学園園長 | 鈴木 健一 | 様 | PTA副会長 | |
| | 十文字 律子 | 様 | PTA副会長 | 花安 莉江 | 様 | 1学年委員長 | |
| | 芳賀 篤徳 | 様 | PTA副会長 | 柳生 明美 | 様 | 3学年委員 | |
| | 根本 義浩 | 様 | 2学年委員 | | | | |